小学生向け　練馬区　学ぼう、ユニバーサルデザイン　身近にある商品編

# 学ぼう、ユニバーサルデザイン

私たちのまちには、子育て中の人・お年寄り・障害のある人・外国人など、さまざまな人が住んでいます。この学ぼう、ユニバーサルデザインでは、身近にあるユニバーサルデザインの工夫を紹介しています。身近にある商品編では、商品にあるユニバーサルデザインの工夫について学びます。

途中で、クイズが５問出てきます。君は、何問正解できるかな？

# ユニバーサルデザインって何？

ユニバーサルデザインとは、みんなにとって使いやすいように考えられたものや、心づかいのことです。

左の自動販売機は、車いすを使っている人や、背の低い子どもは、ボタンに手が届いていません。しかし、右にある自動販売機では、あらかじめ低い位置にボタンがつけられていたり、商品の取り出し口が腰をかがめなくても取り出せたりするため、誰にでも使いやすくなっています。このように、誰にでも使いやすいように工夫されたのがユニバーサルデザインです。

# ユニバーサルデザインとバリアフリーのちがい

よく聞く言葉で、バリアフリーがあります。

では、バリアフリーとユニバーサルデザインは、何がちがうのでしょうか？

バリアフリーは、障害のある人やお年寄りにとって、使いづらいものがあれば、なくしていきましょうという考え方です。たとえば、段差があって車いすを使っている人が通れない通路に、スロープをあとからつけるのはバリアフリーになります。

ユニバーサルデザインは、最初からみんなに使いやすいものをつくろうという考え方です。はじめから段差がないと、障害のある人やお年寄りだけでなく、足をけがした人やベビーカー利用の親子、重い荷物を持っている人など、誰にでも使いやすいですよね。

# ユニバーサルデザインがある理由

私たちのまちには、子育て中の人・お年寄り・障害のある人・外国人など、さまざまな人が住んでいて、生活の中で、困りごとを感じるときがあります。

私たちのまちには、子育て中の人・お年寄り・障害のある人・外国人など、さまざまな人が住んでいて、生活の中で、困りごとを感じるときがあります。

車いすユーザーは、大きな段差や、階段があると困るなぁ…

高齢者は、バスの乗り降りが大変だなぁ…

外国人は、日本語の案内だけだと、わからないなぁ…

視覚に障害がある人は、文字が大きくないと、読めないなぁ…

聴覚に障害がある人は、放送があっても、気づけないなぁ…

妊婦さんは、ずっと立っていると、大変だなぁ…

さまざまな人がいて、自分や周りの人もそうなるかもしれない。

だからこそ、最初からみんなに使いやすいユニバーサルデザインが必要なのです。

ここからはクイズに答えながら、みなさんの周りにあるユニバーサルデザインの工夫を学んでいきましょう。

# クイズ１　文房具のユニバーサルデザイン

Casta（カスタ）というはさみには、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、Casta（カスタ）の工夫に当てはまるものの数を数えてみよう。

（Casta（カスタ）／HARAC）

このはさみのユニバーサルデザインの工夫は…

A 力が弱くても、切りやすくなっている

B どんなものでも切ることができる

C 手が不自由な人でも、切りやすい

D 折りたたんで、筆箱の中に入れられる

E 初めてはさみを使う、小さい子どもにも安全

正解は　３つ

・子どもやお年寄りなどの力が弱い人でも、少しの力で切ることができるように、持つ部分が丸い形になっているんだ

・カバーをつけたまま切ることができるから、はじめてはさみを使う小さな子どもでも安全に使えるよ

・丸い形のおかげで、机に置いて使うことができるから、手が不自由な人でも切ることができる。それに、右手・左手どちらでも使いやすくなっているんだ

もっとユニバーサルデザイン

ほかにも、切るたびにカスタネットのように音がひびくようになっています。

視覚に障害のある人も、安心して使えるかもしれないね

# クイズ２　お金のユニバーサルデザイン

お金には、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、お金の工夫に当てはまるものの数を数えてみよう。

お金のユニバーサルデザインの工夫は…

A お札には、金額がさわってわかるマークがついている

B お札の真ん中の丸い部分に光を当てると、人の顔が見える

C 小銭の色や形、重さがちがうから、見分けやすい

D 小銭に点字がついている

E お札の種類ごとに紙の長さがちがう

正解は　３つ

・お札には、さわってわかるマーク（認識マーク） がついていて、視覚に障害のある人でもいくらのお札かわかるようになっているんだ

・小銭は色や形、重さがちがうから、お財布に入れていてもみんながいくらの小銭か分かりやすいようになっている

・お札の種類によって長さが違うんだよ。お財布の中に入っていても、長さでどのお札か分かるようになっているんだ

もっとユニバーサルデザイン

クレジットカードや、スマートフォンでお金を支払えるようになって、視覚に障害のある人はもっと便利になっています。

お金をたくさん持ち歩かなくて済むから、みんなにとっても便利だね

# クイズ３　スマートフォンのユニバーサルデザイン

スマートフォンには、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、スマートフォンの工夫に当てはまるものの数を数えてみよう。

スマートフォンのユニバーサルデザインの工夫は…

A 文字を音声で読んでくれる機能がある

B 見たい部分を拡大することができる

C 音声で操作できるようになっている

D ライトがついていて写真がきれいに撮れる

E 形がでこぼこで持ちやすい

F タッチしたり、振ったりするだけで簡単な操作ができる

G 文字の大きさを自分で変えることができる

正解は　４つ

・スマホの文字を、音声で読んでくれる機能がついているんだ。視覚に障害のある人でも、ホームページの内容がわかるよ。

・もっとよく見たいな、と思った部分を自由に拡大できるから、視覚に障害のある人や、お年寄りも見やすいね

・文字の大きさを自由に変えられるんだ。小さい文字が見えにくい人に、便利だね

・タッチしたり、振ったりするだけで簡単に操作ができるんだ。みんなに便利な機能だね。

もっとユニバーサルデザイン

操作のしかたがなかなか覚えられないお年寄りのために、もっと操作が簡単なスマートフォンもあるんだ。

# クイズ４　ペットボトルのユニバーサルデザイン

ペットボトルには、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から、ペットボトルの工夫に当てはまるものの数を数えてみよう。

ペットボトルのユニバーサルデザインの工夫は…

A どんな人でも、持ちやすい。

B どんな人でも、ふたが開けやすい

C ラベルがはがしやすくなっている

D 簡単につぶせるようになっている

E 容器が透明で中身が何かわかりやすい

正解は　３つ

・２リットルのペットボトルは重いけど、指がすっぽりと入るくぼみがついていることで、力の弱い人でも持ちやすく、注ぎやすくなっているよ。

・はり合わせたラベルを使っているから、はがし口を引っ張るだけで簡単にラベルをはがすことができるんだ。みんなにとって便利な工夫だね

・やわらかいから、力の弱い人でも簡単につぶすことができるよ。ペットボトルの資源量を減らしているから、軽くて、環境にもやさしくなっているんだ。

もっとユニバーサルデザイン

ペットボトルのキャップを開けやすくするための商品も出ているよ

# クイズ５　教科書のユニバーサルデザイン

みんなの使っている教科書にも、いろいろなユニバーサルデザインの工夫があります。

下にある中から教科書の工夫に当てはまるものの数を数えてみよう。

（教科書：光村図書出版株式会社）

教科書のユニバーサルデザインの工夫は…

A ページによって紙の厚さがちがう

B 誰にでも見分けやすい色になっている

C 教科や学年によって教科書の大きさや形、重さがちがう

D 文字に読みやすい工夫がしてある

E 男の子と女の子、どっちも同じぐらい登場する

正解は　２つ

・実は、誰にでも読みやすい、文字（ユニバーサルデザインフォント）を使っているんだよ。

・誰にでも見分けやすい色を使っているよ。書き順の数字も同じ色づかいにすることで、より分かりやすくなっているんだ！

教科書の工夫

文字を大きくした、拡大教科書もあるんだ。

小さい文字が読みづらいお友達も、一緒に授業を受けられるね。

# そのほかの商品のユニバーサルデザイン

そのほかにも、商品にはたくさんのユニバーサルデザインの工夫がされています。

牛乳パックやカードの切り欠き

牛乳パックに、切り欠きが入っているのは知っていますか？これは、視覚に障害のある人がさわっただけで牛乳だと分かるようになっている工夫です。同じように、カードにも挿入方向やちがいが分かるように、切り欠きが入っています。

電気のスイッチ

皆さんの家の中には、大きなスイッチはありますか？これは、押しやすい工夫がされています。力が弱い人だけではなく、両手で荷物を持っていても、ひじで押すことができるのでみんなにとっても使いやすい商品です。

# 今日から始めよう、みんながすぐにできること

ユニバーサルデザインはものや建物だけではなく、ちょっとした思いやりや考え方で、みんなもユニバーサルデザインを実践することができます。

声をかけてみよう

まちや学校で、困っていそうな人に気がついたら、どうしましたか？お手伝いしましょうか？と声をかけてみましょう。もしひとりではお手伝いができないことだったら、周りの人に助けを求めてみましょう。きっと、いっしょにお手伝いしてくれるはずです。

ゆずる心を持とう

エレベーターは、誰もが気軽に利用できる便利な乗り物です。エレベーターが混雑しているときは、障害のある人やお年寄り、子ども連れの方を優先し、譲りあって利用しましょう。少しの工夫で、いろいろな人を助けることができます。

ルールを守ろう

車いす対応トイレやオストメイト（人工肛門・人口ぼうこうを造設された方）対応トイレなどを必要でない人が使ってしまうと、本当に必要な人がトイレに行けず困ってしまいます。障害のある人用の駐車場も同じです。一人ひとりがルールを守れば、みんなが暮らしやすいまちになります。

どうだったかな？全問正解を目指してね